

# CS-1772/CS-1774

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS-1772/CS-1774 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008 年 6 月 17 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

## 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

## 【補足】

- ・本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

FCC.....	8
同梱品 .....	9
本マニュアルについて.....	10
マニュアル表記について .....	11
<b>第1章 はじめに .....</b>	<b>12</b>
製品概要.....	12
特長.....	14
必要システム構成.....	15
コンソール.....	15
コンピュータ .....	15
ケーブル.....	16
製品各部名称 .....	17
フロントパネル .....	17
リアパネル.....	20
<b>第2章 ハードウェアセットアップ .....</b>	<b>22</b>
セットアップの前に.....	22
ケーブル接続.....	22
ポート番号の割り振り.....	25
終了と再起動 .....	25
ホットプラグ .....	26
<b>第3章 基本操作 .....</b>	<b>27</b>
手動によるポート切替.....	27
ホットキーによるポートアクセス .....	27
ポート切替 (サイクル切替) .....	28
ポート切替 (ダイレクト切替) .....	29
オートスキャン.....	30
<b>第4章 ホットキーセッティングモード .....</b>	<b>31</b>
ホットキーセッティングモードの起動 .....	31
ホットキーセッティングモード起動キーの変更.....	32
ポート切替キーの変更.....	32
キーボード設定.....	33
ホットキー設定の表示.....	34
USB リセット.....	34

ビープ音 オン/オフ.....	34
ポート切替無効化.....	35
デフォルト設定の復元.....	35
ファームウェアアップグレードモード.....	36
ホットキーセッティングモード 一覧.....	37
第 5 章 キーボードエミュレーション.....	38
Sun キーボードエミュレーション.....	38
Mac キーボードエミュレーション.....	40
第 6 章 ファームウェアアップグレードユーティリティ.....	41
アップグレードの前に.....	41
アップグレード開始.....	43
アップグレード成功.....	46
アップグレード失敗.....	46
付録.....	47
製品仕様.....	47
ホットキー初期設定一覧.....	49
トラブルシューティング.....	50

## FCC

---

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。



## 同梱品

---

CS-1772/CS-1774 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

### CS-1772

- ◆ CS-1772 KVM スイッチ ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(2L-5302UU:1.8m) ×2
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ DC 5.3V 電源アダプタ ×1
- ◆ PS/2-USB 変換ケーブル ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ クイックスタートガイド ×1

### CS-1774

- ◆ CS-1774 KVM スイッチ ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(2L-5302UU:1.8m) ×4
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ DC 5.3V 電源アダプタ ×1
- ◆ PS/2-USB 変換ケーブル ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ クイックスタートガイド

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CS-1772/CS-1774 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:**CS-1772/CS-1774 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明しています。
  - 第2章 ハードウェアセットアップ:**CS-1772/CS-1774 セットアップ方法および基本操作について説明しています。
  - 第3章 基本操作:**CS-1772/CS-1774 のポート切替およびオートスキャンの操作方法について説明しています。
  - 第4章 ホットキーセッティングモード:**CS-1772/CS-1774 の操作をカスタマイズするホットキーセッティングモードについて説明しています。
  - 第5章 キーボードエミュレーション:**Mac キーボードのエミュレーション、また、Sun キーボードのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。
  - 第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:**CS-1772/CS-1774 のファームウェアの最新版のアップグレード方法について説明しています。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

## マニュアル表記について

---

[     ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

# 第1章

## はじめに

### 製品概要

---

Master View™ CS-1772/CS-1774 は従来の KVM スイッチに新機能を導入した画期的な製品です。CS-1772/CS-1774 はそれぞれ 2 ポート/4 ポートとしてのコンピュータ切替機能に加え、Ethernet スwitchングハブと USB 2.0 対応ハブをそのコンパクトな本体に搭載しています。つまり本製品の導入によって、新たなデバイスを追加することなく、すべてのコンピュータをネットワークに接続し、プリンタサーバ、モデムスプリッタなどと言った USB デバイスを共有できます。

ユーザーは 1 組のコンソールを使用して、スイッチに接続された 2 台または 4 台のコンピュータを切り替えて使用することができます。また高速な USB 2.0 規格対応の 2 ポート USB ハブを搭載しており、ハブに接続されたデバイスにはスイッチに接続した各コンピュータから自由にアクセスすることが可能、つまり CS-1772/CS-1774 を経由して、2 台の USB デバイスを 2 台または 4 台のコンピュータで共有することができます。

また CS-1772/CS-1774 はオーディオ環境にも配慮し、オーディオ入出力が可能になっています (スピーカー/マイクロフォン)。製品に同梱する KVM ケーブルにはミニオーディオジャックが付いており、接続するすべてのコンピュータでオーディオを使用することができます。

KVM コントロール、USB ハブ、オーディオはそれぞれ独立切替が可能です。あるコンピュータで USB デバイスを使用中であっても、KVM コントロールのみを他のポートに接続されたコンピュータへ切り替えることができます。例えば、1 台のコンピュータでプリンタタスク実行中に、他のコンピュータでオーディオ機能を使用し、また同時に別のコンピュータでオフィスアプリケーションの作業を行うことも可能になります。

CS-1772/CS-1774 のセットアップは非常に簡単です。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続するだけです。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。また、キーボードのエミュレーション可能なので、キーマッピングが異なる複数のプラットフォーム(PC 互換、Sun、Mac)を操作することが可能です。

Master View™ CS-1772/CS-1774 の導入より時間とコストの節約になる方法はありません。接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- 1) それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- 2) 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- 3) 省電力
- 4) コンピュータから他のコンピュータへと絶えず動き回る無駄な労力を削減

## 特長

---

- ◆ マルチファンクション USB KVM スイッチーUSB ハブ/Ethernet スイッチングハブ/オーディオ
- ◆ 1台のコンソールで2台(CS-1772)/4台(CS-1774)のコンピュータを切替操作、USB デバイスを2台接続可能(USB 2.0 準拠)
- ◆ KVM/USB デバイス/オーディオは独立切替が可能
- ◆ セットアップが簡単—ソフトウェアのセットアップ不要、ケーブルを接続するだけで利用可能
- ◆ 操作が簡単—本体フロントパネルのプッシュボタンやホットキーによるポート選択、また、オートスキャン機能を利用したコンピュータのモニタリング
- ◆ オートディテクト—最初に電源オンになったコンピュータに自動切替
- ◆ USB キーボード・マウス エミュレーション
- ◆ Microsoft IntelliMouse および一般的なスクロールホイール付きマウスに対応
- ◆ マルチメディア USB キーボード対応
- ◆ 各ポートの Caps Lock、Num Lock、Scroll Lock の状態を保持—ポート切替後もそれぞれのキーをポート切替前と同様の状態で使用することが可能
- ◆ LED 表示により KVM・USB コントロールの状態が一目瞭然
- ◆ オートスキャン機能搭載
- ◆ キーボードエミュレート機能により、キーボード未接続でコンピュータを起動した際に発生するブートエラーを回避
- ◆ ホットキーによるキーボードプラットフォームの設定が可能
- ◆ VGA 解像度—最大 2,048×1,536;DDC2B 準拠
- ◆ ファームウェアアップグレード可能
- ◆ Ethernet スイッチングハブ仕様:IEEE802.3/IEEE802.3u、10BASE-T/100BASE-TX、Auto MDI/MDIX、Full/Half Duplex Auto-Negotiation
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ 主要なプラットフォームとの互換性あり(PC、Mac、Sun)
- ◆ 対応プラットフォーム—Windows 98SE/ME/2000/XP/Server 2003、Mac OS 8.6 以降、Sun Solaris 8 以降、Linux カーネル 2.4 以降

## 必要システム構成

---

### コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニタ
- ◆ USB キーボード
- ◆ USB マウス
- ◆ スピーカー/マイクロフォン(オプション)


### コンピュータ

接続するコンピュータが以下の装置を搭載している必要があります。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ ミニオーディオジャック(オプション)

## ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下の CS-1772/CS-1774 対応 KVM ケーブルをご使用になることを推奨いたします。

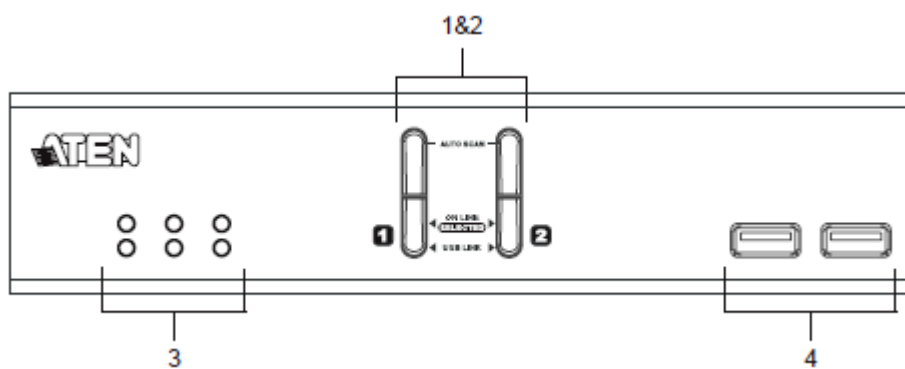
製品画像	機能	型番(長さ)	
	USB KVM ケーブル	2L-5302UU (1.8m)	
	スイッチ側		SPHD-15(緑) ×1 ミニオーディオプラグ ×2
	コンピュータ側		USB タイプ A ×2(紫&黒) D-sub15 ピン オス ×1 ミニオーディオプラグ ×2



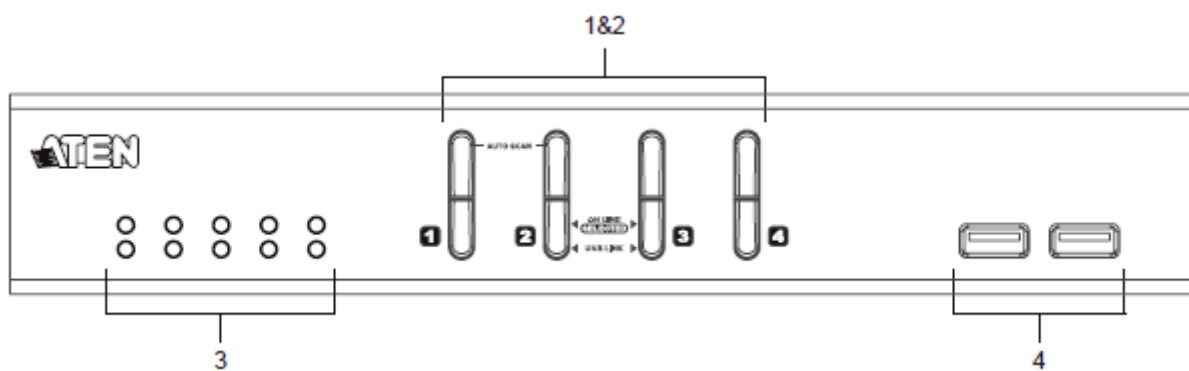
# 製品各部名称

## フロントパネル

CS-1772



CS-1774



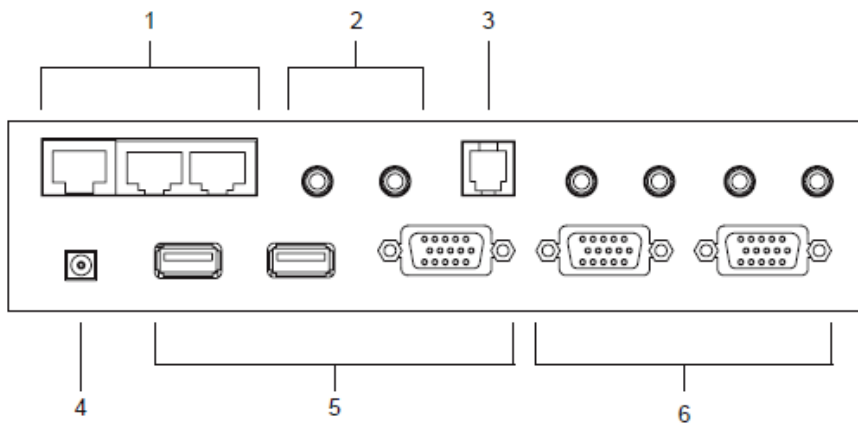
No.	名称	説明
1	ポート選択ボタン	このボタンを押すと、対応するポートに接続されたコンピュータに切り替えます。操作の詳細については p.27 をご参照ください。
2	ポート LED	<p>ポート LED はポート選択ボタンに内蔵されています。上部の LED が KVM ポート LED、下部の LED が USB LED です。</p> <p>KVM:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LED が暗いオレンジに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータの電源がオンであることを示します。</li> <li>◆ LED が明るいオレンジに点灯しているときは、対応するポートが KVM コントロールで選択されていることを示します。</li> <li>◆ LED が点滅しているときは、対応するポートに接続されたオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。</li> </ul> <p>USB:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LED が暗いグリーンに点灯しているときは、USB ケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LED が点灯していないときは、USB ケーブルが接続されていないことを示します。</li> <li>◆ LED が明るいグリーンに点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USB ハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。</li> </ul>

(表は次のページに続きます)

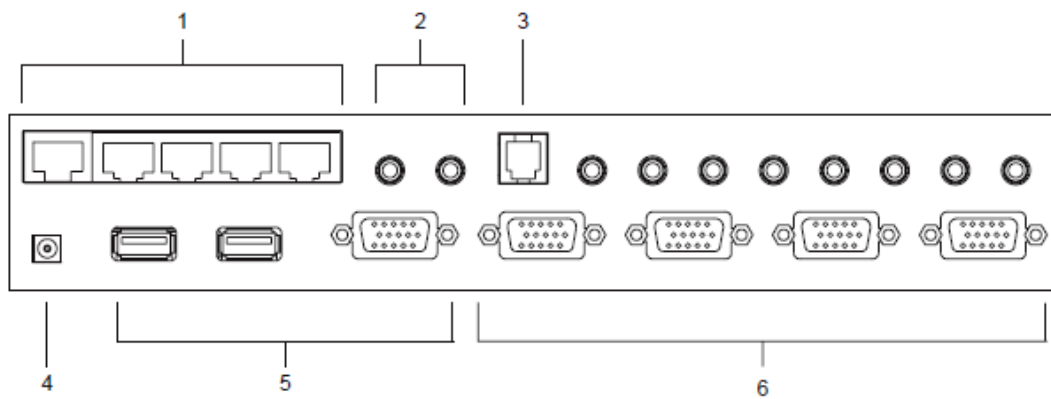
No.	名称	説明																
3	Ethernet LED	<p>Ethernet LED は対応するポートのデータ転送の状態を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>LED</th> <th>状態</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">LAN Link</td> <td>OFF</td> <td>ポートに接続されたコンピュータがデータ転送不可であることを示しています。</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ポートに接続されたコンピュータがデータ転送可能であることを示しています。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>点滅</td> <td>対応するポートでデータ転送が行われていることを示しています。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10/100Mbps</td> <td>OFF</td> <td>データ転送速度が 10Mbps であることを示しています。</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>データ転送速度が 100Mbps であることを示しています。</td> </tr> </tbody> </table>	LED	状態	内容	LAN Link	OFF	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送不可であることを示しています。	ON	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送可能であることを示しています。		点滅	対応するポートでデータ転送が行われていることを示しています。	10/100Mbps	OFF	データ転送速度が 10Mbps であることを示しています。	ON	データ転送速度が 100Mbps であることを示しています。
LED	状態	内容																
LAN Link	OFF	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送不可であることを示しています。																
	ON	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送可能であることを示しています。																
	点滅	対応するポートでデータ転送が行われていることを示しています。																
10/100Mbps	OFF	データ転送速度が 10Mbps であることを示しています。																
	ON	データ転送速度が 100Mbps であることを示しています。																
4	USB ハブポート	お使いになる USB デバイスをこちらに接続します。																

## リアパネル

CS-1772



CS-1774



No.	名称	説明
1	Ethernet スイッチングハブ	カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して各コンピュータをネットワークに接続することができます。
2	コンソールオーディオポート	コンソールで使用するマイクロフォン・スピーカーのミニオーディオジャックを接続します。
3	ファームウェア アップグレードポート (RJ-11 コネクタ)	同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、最新版のファームウェアパッケージを保存した管理者のコンピュータと接続します。アップグレードの手順については p.41 をご参照ください。
4	電源ジャック	電源アダプタのケーブルをこちらに接続します。
5	コンソールポートセクション	コンソールで使用する USB キーボード、USB マウス、モニタのケーブルをこちらに接続します。
6	コンピュータポートセクション	製品同梱の KVM ケーブルを使用してスイッチとコンピュータを接続します。  <b>注意:</b> こちらの SPHD-15 コネクタは USB キーボード・USB マウス・ビデオ、USB デバイスのデータをひとつのポートで転送するために設計された特殊なコネクタです。誤って通常の VGA の 15 ピンコネクタを接続しないようご注意ください。

## 第2章

# ハードウェアセットアップ

### セットアップの前に

---



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

### ケーブル接続

---

CS-1772/CS-1774 のセットアップは次ページの図(図中の番号は作業手順の順番に対応)を参考にしながら、以下の手順に従い作業を進めてください。

1. お使いになるUSBキーボード・USBマウス・モニタを、リアパネルにあるコンソールポートに接続してください。
2. お使いになるマイクロフォン・スピーカーを、リアパネルにあるコンソールポートの各ジャックに接続してください。

3. 同梱の USB KVM ケーブルをスイッチリアパネルの下部 SPHD-15 コネクタ(緑)に接続し、マイク・クロフォン・スピーカーのコネクタも同一ポートの該当ジャックにそれぞれ接続してください。

---

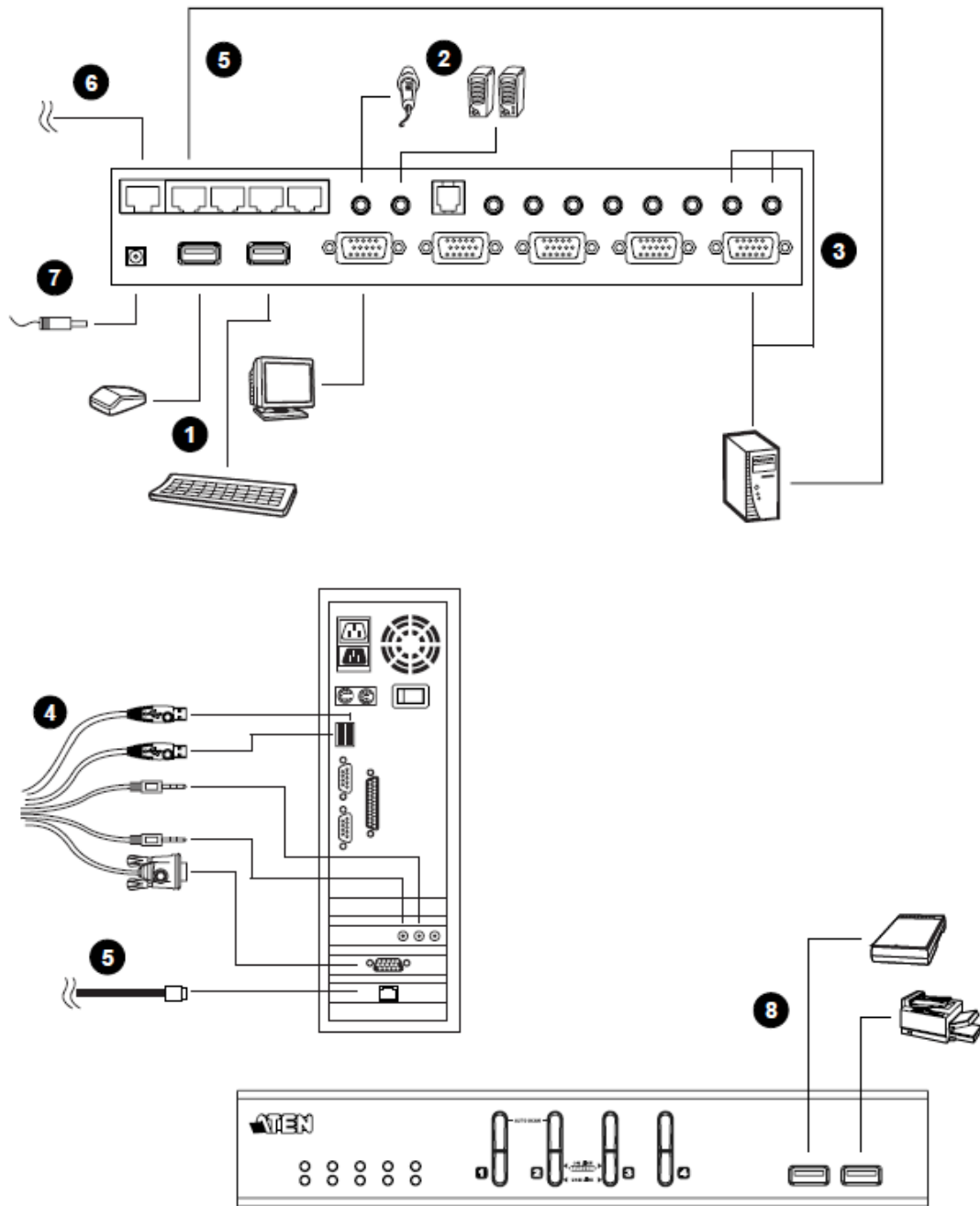
**注意:**

1. 同一ケーブルのコネクタはすべて同一のコンピュータポートに接続してください。
2. ポートには接続するコネクタのアイコンが表示されています。

---

4. KVM ケーブルの別の一端の各ケーブル(USB タイプ A×2、HDB-15 オス、オーディオ×2)をコンピュータに接続します。
5. カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して、スイッチリアパネルの Ethernet スイッチングハブポートとコンピュータの LAN ポートを接続してください。接続するコンピュータそれぞれに対し 3.~5. のステップを繰り返してください。
6. カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して、スイッチをネットワークに接続します。
7. 電源アダプタをリアパネルの電源ジャックに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
8. フロントパネルの USB 2.0 ハブに接続するデバイスを接続してください。

これでセットアップは完了です。接続したコンピュータの電源をオンにしてください。





## ポート番号の割り振り

---

CS-1772/CS-1774 のコンピュータポートにはポート番号が割り当てられています。(CS-1772 には 1~2 を、CS-1774 には 1~4 をそれぞれ付番) 対応するポート番号はリアパネル コンピュータポートに記されています。(p.20 参照)

コンピュータのポート ID は、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えばポート 2 に接続されたコンピュータのポート ID は 2 になります。

ポート ID は KVM、USB、オーディオのコントロールをホットキーによって切り替えるときに使用します。(詳細は p.27 参照)

## 終了と再起動

---

CS-1772/CS-1774 の電源を切る必要がある場合は、再接続の前に以下の手順に従ってください。

1. CS-1772/CS-1774 に接続している全てのコンピュータをシャットダウンしてください。

---

**注意:** キーボード起動機能がついているコンピュータが接続されている場合は、そのコンピュータの電源アダプタも抜かなければいけません。そうしないとコンピュータは電源が供給されている状態のままになっています。

---

2. スイッチに接続した電源アダプタを抜いてください。
3. スイッチへの電源アダプタ再接続は 10 秒以上待ってから行ってください。
4. スイッチに電源が供給されたのを確認した後にコンピュータの電源を入れてください。

## ホットプラグ

---

CS-1772/CS-1774はUSBホットプラグに対応しています。コンポーネントはシャットダウンせずにスイッチへの接続・取り外しが可能です。

# 第3章

## 基本操作

CS-1772/CS-1774 のポート切替は、フロントパネルの切替ボタンを押す、または便利なホットキー操作によって行います。

### 手動によるポート切替

- 
- ◆ フロントパネルのポート選択ボタンを押してすぐに離すと、KVM コントロールのみが押したボタンに対応するポートに切り替わります。LED 表示は押した KVM コントロールのグリーンのみが点灯します。この操作では USB デバイスとオーディオの選択は切り替わりません。
  - ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押したままにすると、KVM コントロール・USB デバイス・オーディオすべての選択に対応するポートに切り替わります。LED 表示も押したポート側がすべて点灯します。
  - ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押したままにするとオートスキャンモードになります。詳細は p.30 をご参照ください。

### ホットキーによるポートアクセス

---

ホットキーによるポート切替操作は、すべて[Scroll Lock]キー2 度押しから開始します。[Scroll Lock]キー2 度押し後に、更に特定のキー入力を行うことによってホットキーコマンドを実行します。

---

**注意:** [Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こす場合のために、ホットキーセッティングモードで[Ctrl]キーに設定変更することが可能です。詳細は p.32 をご参照ください。

---

## ポート切替 (サイクル切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切り替えます。切替順は以下のとおりです。 CS-1772: 1→2→1→2→…… CS-1774: 1→2→3→4→1→2→……  <b>注意:</b> この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中でも強制的に次のポートに切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM およびUSB ハブ選択は現在のポートのままです。

## ポート切替 (ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。  <b>注意:</b> この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中でも強制的に指定したポートに切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。

**注意:** 表中の **n** はコンピュータ番号(1~4 を使用。詳細は p.25 のポート番号の割り振りを参照)を表しています。上記のホットキーを入力する際には、**n** と記載されているところに対象となるポート ID を適宜入力してください。

## オートスキャン

CS-1772/CS-1774 のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的に KVM コントロールを切り替えます。この機能によって、手動で操作しなくても接続されたすべてのコンピュータの状態を監視できます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>5 秒間隔</b> で切り替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>指定した間隔 (1~99 秒)</b> で切り替わります。

- 注意:**
1. 表中の **n** は 1~99 の任意の数字を入力します。こちらの設定によってオートスキャンで各ポートモードを表示するインターバル時間となります(単位:秒)。
  2. オートスキャンモードでは設定した間隔でモニタ表示を次々に切り替えますが、キーボード・マウス・USB ハブに接続されたデバイス・オーディオの各選択は、オートスキャンを開始したポートで固定された状態となります。
  3. オートスキャン実行中、キーボード・マウス入力はサスペンド状態となり、オートスキャン中に有効なキー操作のみ ([Esc]キーまたは[Space]キー) が反映されます。

オートスキャンを停止する場合には[Esc]キー、スペースキーまたは直接本体フロントパネルのポート選択ボタンを押してください。

## 第4章

# ホットキーセッティングモード

### ホットキーセッティングモードの起動

---

ホットキーセッティングモードでは CS-1772/CS-1774 の設定を行います。すべての操作はホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。

ホットキーの設定は以下の手順で行ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押して、すぐに離します。
3. [Num Lock]キーを離します。

---

**注意:** ホットキーセッティングモードの起動は他のキー操作でも可能です。下記をご参照ください。

---

- ◆ ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると LED は通常の状態に戻ります。
- ◆ ホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力 はすべて無効になります。
- ◆ ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたは [Space]キーを押してください。

## ホットキーセッティングモード起動キーの変更

---

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力([Num Lock]+[-])がコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合は、[Ctrl]+[F12]という入力に変更することが可能です。

設定変更には以下の操作を行ってください。

1. デフォルトの入力でホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

---

**注意:** この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

---

## ポート切替キーの変更

---

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合は、[Ctrl]キーに変更することが可能です。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [T]キーを入力します。

この操作によって、ポート切替えで使用する[Scroll Lock]キーが[Ctrl]キーに変更されます。

---

**注意:** この操作は[Scroll Lock]、[Ctrl]を交互に切替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

---



## キーボード設定

---

CS-1772/CS-1774 に接続するキーボードについて、キーマッピングはデフォルトで PC 互換プラットフォーム (Win、Linux) に設定されています。Mac キーボードを接続する場合は、以下の操作で設定変更を行ってください。

1. KVM コントロールを目的のポートに合わせます。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力します(下表参照)。ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac 対応に設定します。
[F3]	Sun 対応に設定します。
[F10]	OS を自動検出します。(PC 互換機用)

---

**注意:** Sun システムを接続する場合は、最初にそのポートのキーボード設定を Sun 対応に変更しておかなくてはなりません。そうしないと Sun システムをポートに接続しても起動することはできません。

---

## ホットキー設定の表示

---

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [F4]ファンクションキーを入力します。
3. クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされていますので、テキストエディタ等を開いてペーストしてください。

## USB リセット

---

USB デバイスがコントロールを失いリセットする必要がある場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [F5]ファンクションキーを入力します。

## ビープ音 オン/オフ

---

ポート切替時に鳴るビープ音を有効または無効にするには以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [B]キーを入力します。

この操作を行うと、画面に *Beeper ON* または *Beeper OFF* が 1 秒間表示されます。メッセージが消えると共にホットキーセッティングモードも終了します。

## ポート切替無効化

---

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キー2 度押し(または[Ctrl]キー2 度押し)を無効にしたい場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [X] [Enter]を入力します。

---

**注意:** 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

---

## デフォルト設定の復元

---

CS-1772/CS-1774 のホットキー設定をすべてデフォルトの状態に戻すには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. [R] [Enter]を入力します。

この操作によりすべての設定変更がリセットされ、デフォルトの状態に戻ります。デフォルトの設定に関しては p.49 をご参照ください。

## ファームウェアアップグレードモード

---

CS-1772/1774 のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.31 参照)
2. キーボードで *upgrade* と入力します。
3. **[Enter]** を入力します。

この操作を行うとフロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

---

**注意:** ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。

---

## ホットキーセッティングモード 一覧

ホットキーセッティングモード(p.31 参照)を有効にした後、追加で入力するキーとその機能は以下のようになっています。

追加キー入力	機能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーを変更します。
[T]	ポート切替キーを変更します。
[F2]	キーボードマッピングを Mac 対応に設定します。
[F3]	キーボードマッピングを Sun 対応に設定します。
[F4]	現在のホットキー設定をテキストエディタで表示します。
[F5]	USB をリセットします。
[F10]	キーボード設定を自動検出(PC 互換)します。また、パススルーキーボードモードを有効にします。(キー入力はエミュレートされずに直接コンピュータに送られます)
[B]	ビープ音のオン/オフを切り替えます。
[X] [Enter]	ポート切替キーの有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキーのデフォルト設定を復元します。
<i>upgrade</i> [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。

## 第5章

# キーボードエミュレーション


### Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]もしくは[Alt]キーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	Mult
[Ctrl] [2]	V_DN


(表は次のページに続きます)

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [3]	V_UP
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
[Win]	Compose

## Mac キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

**注意:** 入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]もしくは[Alt]キーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
[Win]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt/オプション
[Prt_Sc]	F13
[Scroll Lock]	F14
[Desktop Menu]	=
[Enter]	Return
[Back Space]	Delete
[Ins]	Help
[Ctrl] [Win]	F15
[Ctrl] [1]	Mult
[Ctrl] [2]	V_DN
[Ctrl] [3]	V_UP



## 第6章

# ファームウェア アップグレード ユーティリティ

---

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

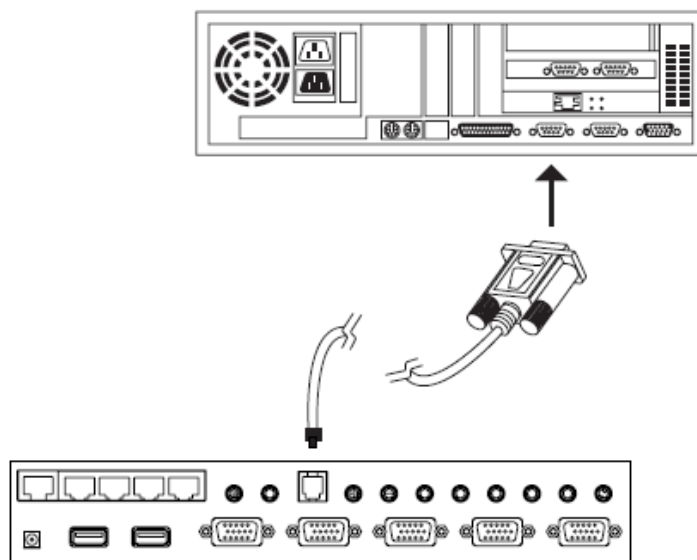
ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 web サイトをご覧ください。<http://www.aten.com/download/download.php>

### アップグレードの前に

---

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されているコンピュータとは別に、インターネット接続可能なコンピュータを用意してください。弊社 web サイトにアクセスして製品型番で検索し、ファームウェアのリストから CS-1772/CS-1774 の最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージをダウンロードし、コンピュータの任意のディレクトリに保存してください。
3. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートとスイッチ リアパネルのファームウェアアップグレードポートを接続します。



4. CS-1772/CS-1774 のリアパネルから KVM ケーブルを抜きます。
5. ファームウェアアップグレードモードを起動します。(p.36 参照)フロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

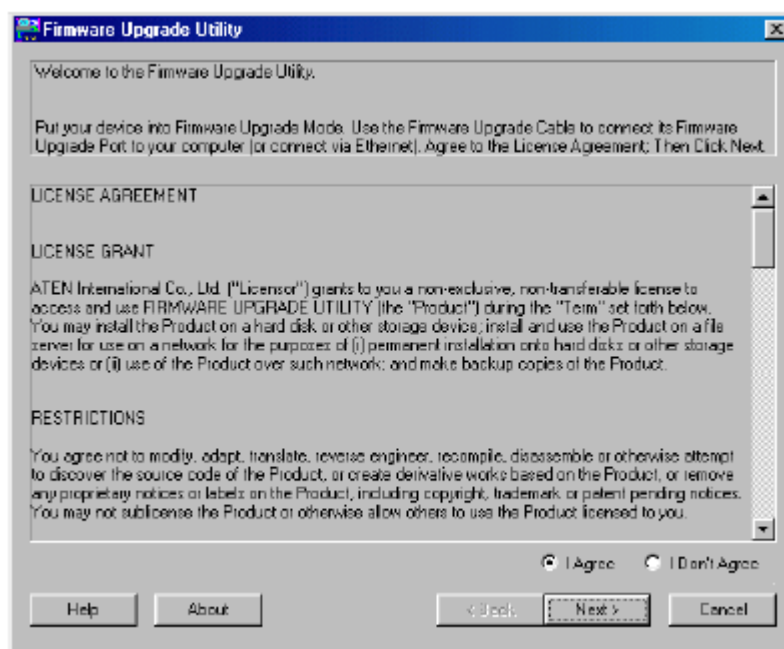
これでアップグレードの準備が整いました。

## アップグレード開始

---

以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックまたはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。

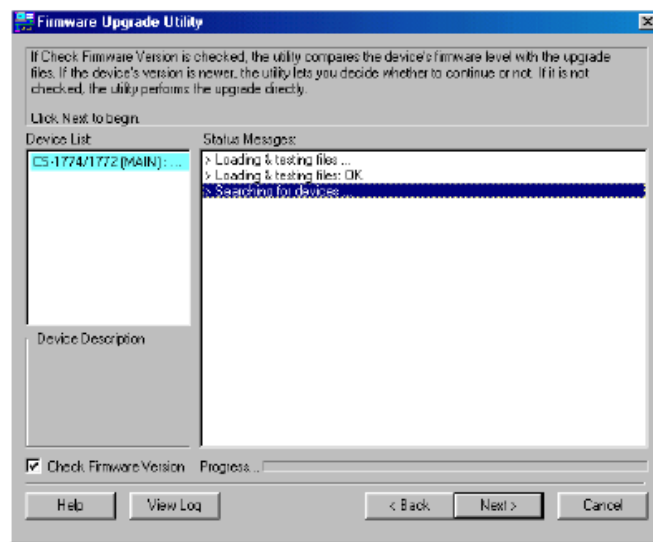


---

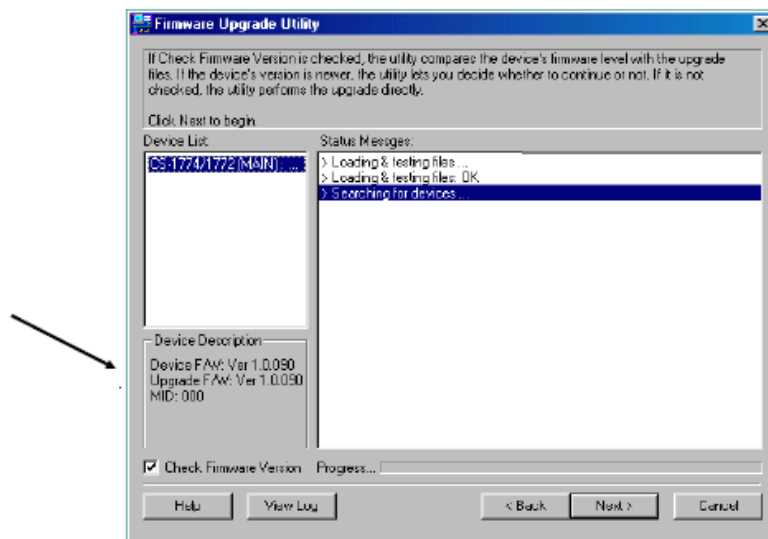
**注意:** 実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

---

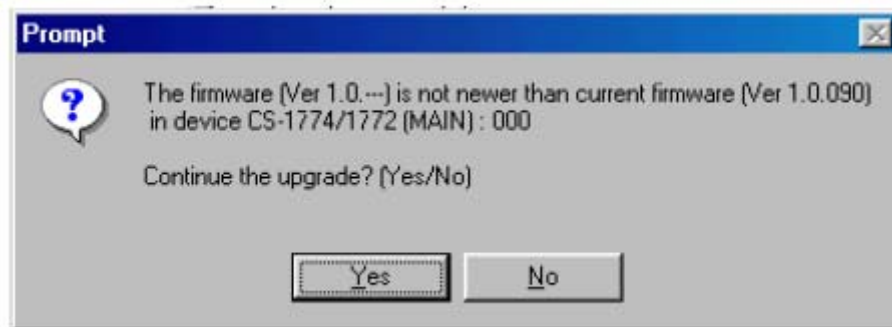
2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにして、「Next」ボタンを押して次に進んでください。
3. 「Next」ボタンを押すとファームウェアアップグレードユーティリティ メイン画面が表示されます。



- ◆ ファームウェアアップグレードユーティリティは、お使いの CS-1772/CS-1774 の環境を自動検出し、そのパッケージでアップグレード可能なデバイスの一覧を「Device List」フィールドに表示します。
- ◆ 「Device List」フィールドで選択されたデバイスの詳細が、画面左下の「Device Description」パネルに表示されます。



4. デバイスを選択後、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。
- ◆ ここで「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在使用のバージョンがアップグレードパッケージよりも高い場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。

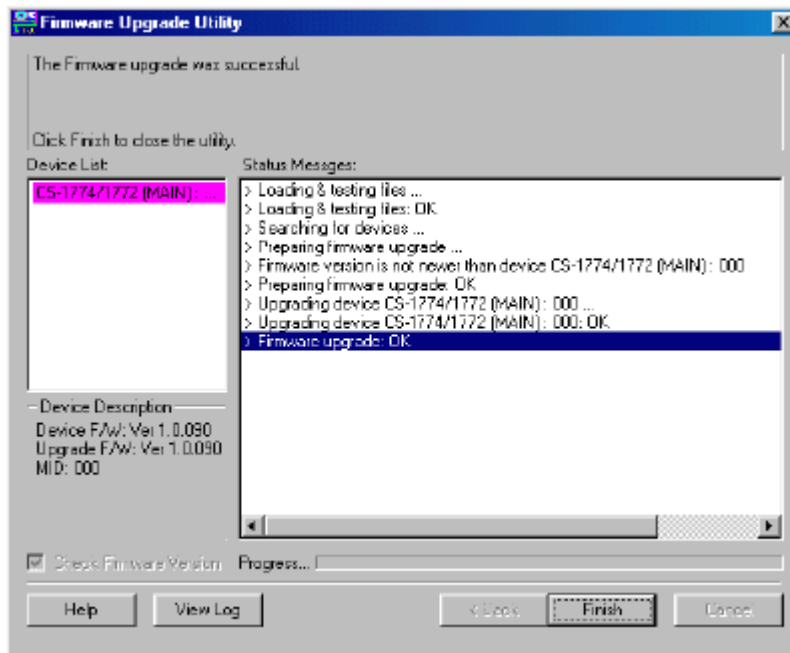


- ◆ 「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョン比較をせずにアップグレードを行います。
- ◆ アップグレードの進捗状況はステータスフィールドとプログレスバーで表示されます。

## アップグレード成功

---

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」ボタンを押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了しますので、接続しているコンピュータの電源をオンにしてください。

## アップグレード失敗

---

アップグレード成功画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。もう一度最初のステップからアップグレード作業をやり直してください。

# 付録

## 製品仕様

機能		CS-1772	CS-1774
コンピュータ接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピュータ側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側対応イ ンターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		プッシュボタン、ホットキー	
コンピュータ側 コネクタ	キーボード	SPHD メス(グリーン)×2	SPHD メス(グリーン)×4
	マウス		
	モニタ		
	スピーカー	ミニオーディオ ジャック×2	ミニオーディオ ジャック×4
	マイク	ミニオーディオ ジャック×2	ミニオーディオ ジャック×4
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×	
	モニタ	D-sub15 ピンメス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1	
	マイク	ミニオーディオジャック×1	
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
Ethernet ハブ		RJ45×3	RJ45×5
ファームウェアアップグレードポート		RJ11×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	

(表は次のページに続きます)

機能		CS-1772	CS-1774
LED	オンライン	グリーン×2	グリーン×4
	ポート選択	オレンジ×2	オレンジ×4
	10/100Mbps	グリーン×3	グリーン×5
	リンク	グリーン×3	グリーン×5
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
スキャンインターバル		1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
電源仕様(アダプタ)		型番:0AD8-0605-241G 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		4.5W	5W
VGA 解像度		最大 2,048×1,536;DDC2B 準拠	
動作環境	動作温度	0~50°C	
	保管温度	-20°C~60°C	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		710g	920g
サイズ(W×D×H)		210×85×55mm	270×85×55mm
同梱品		2L-5302UU(1.8m) ケーブル×2 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタート ガイド×1 PS/2→USB 変換ケーブル×1	2L-5302UU(1.8m) ケーブル×4 ファームウェア アップグレード ケーブル×1 電源アダプタ×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタート ガイド×1 PS/2→USB 変換ケーブル×1



## ホットキー初期設定一覧

ホットキーの工場出荷時における各値の初期設定内容は以下のとおりです。

設定	デフォルト値
ポート切替	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
ホットキーセッティングモード(HSM)起動	[Num Lock]+[-]
ビープ音	オン
キーボードレイアウト	PC 互換
ポート切替キー入力	有効

## トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
動作が不安定である	供給電力が不十分である可能性があります。	製品同梱の DC 5.3V 電源アダプタを接続してください。
キーボード/マウスが反応しない	キーボード/マウスのリセットが必要です。	USB コンソールをリセットするホットキーを実行してください。(p.34 参照) キーボード/マウスのケーブルを一度抜いて接続し直してください。
	キーボード/マウスのケーブルが適切に接続されていない可能性があります。	各ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要です。	接続したすべてのデバイス・KVM スイッチの電源をオフにしてください。(p.22 の注意書きを参照)オフにして 5 秒以上待ってから、再起動してください。
USB ハブに接続したデバイスが反応しない	USB リセットが必要です。	リアパネルに接続した USB デバイスのコネクタを接続し直します。
USB ハブに接続されたデバイスが Windows で正しく認識されない	デバイスの接続順序に問題があるかもしれません。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータに接続した KVM ケーブルの USB コネクタを抜きます。</li> <li>2. Windows のデバイスマネージャから「！」マークのついた不明なデバイスを削除します。</li> <li>3. KVM ケーブルの USB コネクタを接続し直すと、Windows がデバイスを再認識します。</li> </ol>

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
Sun システムが起動しない	コンピュータポートのプラットフォーム設定が必要です。	Sun システムを接続する場合は、先にポートのプラットフォーム設定を行う必要があります。p.33 の説明にしたがって正しく設定してください。
Mac キーボードに [Scroll Lock] や [Num Lock] キーがない	Mac キーボードにはこれらのキーが無いレイアウトのものがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ホットキー代替キーの[F14]を使用してください。</li> <li>•[Num Lock]キーの代わりに[Clear]キーを使用してください。</li> </ul>